

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 血液・免疫・感染症内科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・医局内の連絡事項はメールで配信する ・病院業務に関する書類はファイルサーバーを利用して情報共有を行う ・印刷物は原則両面印刷を行う 	12.5		<p>メーリングリストによる連絡や当直日誌の電子化を実施している。また印刷物の両面印刷の実施もできているが、病院からの配布物が紙ベースであったり、当直日誌も最終的には押印が必要であることから完全なペーパーレス化は難しかった。今後部署単位ではなく病院全体としてペーパーレス化を推進するための制度変更が必要と考えられた。</p>
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・封筒やクリアファイルの再利用 ・製薬会社や学会からの配布物をペーパーレス化を依頼する ・各自食器を持参する ・医局内で共有のエコバックを常備 	12.5		<p>クリアファイルの再利用および各自食器の利用も出来ていた。ただし弁当に関しては使い捨て容器が主体であり、この部分のごみ削減が難しかった。</p>
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン商品購入を継続する 	12.5		<p>引き続きグリーン商品を購入している</p>
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫の霜取りを定期的に行う ・使用者のいない部屋の消灯・冷暖房機器の電源offを徹底する ・使用していない実験機器の電源off 	7.3		<p>冷蔵庫の霜取りは当番表を作成し実施できていた。夜間の冷暖房の電源offや消灯に関しては徹底されておらず改善の余地があった。</p>
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
実験試薬廃棄の減量	実験試薬の破棄を20%以上減量する	<ul style="list-style-type: none"> ・購入試薬の情報共有により過剰な薬品購入を行わないように管理する ・汎用試薬の使用期限を定期的に確認する ・可能な限り保存の効く製剤を選択する 	12.5		<p>高額試薬の購入や実験機器の購入時に各実験グループで討議するようになり効率的な実験機器の購入ができた。</p>
次年度の課題	引き続き実現可能なペーパーレス化を進めて行きたいが、病院側の制度改革も必要であり、環境管理委員会から病院への働きかけも重要と考える。冷暖房や消灯の不徹底は医局内で誰が在院しているか不明確であることが要因の一つと考えられる。出退勤システムと連動した在院スタッフが把握できるシステムがあれば消灯が捗るのではないかとと思うが、当面は部署内での勧奨を行う。				
環境活動者の取り組み評価	概ね例年通りの取り組みができていると考えられた。ただしペーパーレス化やゴミの削減などはコロナ禍でリモートミーティングが増えたことが一つの要因となっており、コロナ禍が収束した後に同様の努力が継続できるかが大きな課題と考えられる。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 循環器・腎臓・高血圧内科

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、コピーでの閲覧ではなくEmailでの共有とする。コピーを用いる際は、両面印刷設定にする。	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	コピーによる閲覧はなくなり、資料共有に関しては全てEmailで共有することが浸透した。署名が必要な用紙のみ、印刷された。印刷物に関しては両面印刷はまだ徹底されていない。両面印刷によるプリンターの紙詰まりトラブルが何度かあった。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別を徹底する。ごみの持ち込みを禁止する。ファイルなどの不用備品の再利用をすすめる。	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別は個人差があり徹底されていないが、もえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、ペットボトルキャップ、缶、紙、電池、プリンター関連廃棄物と細かく分けられ、概ね守られていた。汚れが残るプラスチックは人によってまちまちではあった。横浜市金沢区の情報共有が望ましい。ごみの持ち込みは無いと思われる。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品を購入する意義について周知する。現在の状況について把握し、改善していく。カタログまたは見積り先に確認を行う。	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	コピー用紙など代替可能なものは再生紙を用いているが、多くの物品に関しては性能、コストを重視することが多く今後の課題と考えられる。グリーン商品購入の状況把握や、グリーン商品の把握が十分でないかもしれない。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化。消灯の徹底。離席時にパソコンの省電力機能を設定する。クールビズの徹底。節水。2アップ、3ダウンはエレベーターは使わずに階段を使用する。業務を効率化し、残業時間の短縮を図る。	7.3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	不要照明の消灯、離席時の省電力機能設定の徹底、不要なエアコンオフといった行動が積極的にみられた。定時退勤を守るのは困難であったが、残業は短縮傾向であり、省エネルギーにつながっている。エレベーター利用の自粛は促している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	“働き方改革の推進 残業時間の短縮”	チームの業務分担、相互連携を図る。当直明けの休息時間の確保。スタッフの子育て支援。有給休暇の消費を促す。労働時間の短縮を促す。	8.5	8 働きがいも 経済成長も 	有給休暇の消費は定期的に促されている。労働時間の短縮は難しいところが多い。当直明けの休息時間は確保が難しい。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく。節電の意識をより高めていく。ゴミの分別化を徹底する。グリーン購入品への意識は乏しいため、より積極的に購入を検討していく。業務のスリム化、残業時間の短縮の促進。業務の効率化を進めるため、無駄な作業や簡略化できる業務がないかを再度検討しなおしていく。施設全体としての光熱費削減には、導入時コストとの天秤にはなるが、LEDライトへの置換、人感センサー導入エリアの拡大が望ましい。				
環境活動者の取り組み評価	各委員会がweb開催となることが多く、紙資源の節約はだいぶ進んだと思われる。各委員会のお知らせをメールで共有することが浸透し、紙ごみの減少とともにカンファレンスの時間短縮にも寄与した。いまだグリーン購入品への意識は高くないため、促進していきたい。働き方改革に関しては改善はなく、より一層の努力が必要である。残業短縮化、有休取得推進を進め、継続し、来年は実務に活かしたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

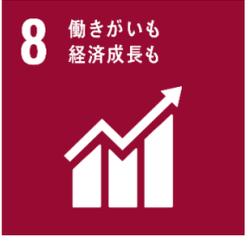
所管部署名 消化器内科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	PDFで閲覧可能なものは、印刷を行わずPDFで閲覧するよう声掛けを行う。また、各委員会などでの周知事項は、印刷回覧ではなくWEBカンファランスなどでPDFを供覧し、印刷物を少なくしていく。	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	カンファランスでのPDF供覧などで、印刷物を少なくするように努力を行った。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	昨年度も行ったペットボトルを潰してゴミ箱に入れ、ゴミ袋の使用枚数を削減する活動を今年度も継続する（声掛けをしないと潰さない人が増える為、適宜声掛けを行う）。	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	声掛けを行わないと、潰されないペットボトルが増えたため、適宜声掛けを行った。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	昨年度導入した、グリーン商品のコピー用紙を今年度も引き続き使用していく。一部、グリーン商品のコピー用紙に完全に切り替えられていない部分があるため、導入に向けて努力を行う。	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	引き続き、グリーン商品の使用を継続したが、一部のコピー用紙は、グリーン商品に切り替えることが出来なかった。次年度以降の課題と考える。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	前年度からの取り組みのおかげで、医局・パソコンの電気・電源を細目に消すことは大分達成できてきたが、時折声掛けを行い意識を高めないと継続が難しいため、今年度も適宜声掛けを行っていく。プリンターの電源をオフにするなども運用可能かどうか検討していく。	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	声掛けを行わないと、モニターの電源がオフされないことも多いため、適宜声掛けを行った。部屋の消灯は比較的達成率が高かった印象を受ける。プリンターの電源オフは、利便性の問題から導入することが出来なかった。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（消灯、モニターの電源オフ、ペットボトルを潰すなど） コピー用紙のグリーン購入品への完全切り替えを検討する				
環境活動者の取り組み評価	部屋の消灯など習慣化されてきたことも、声掛けを行わないと徐々に廃れていくこともあるため、定期的な声掛けが重要であると感じた。ただ、一定程度の習慣化は行えて来ており、効果は出てきているものとする。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

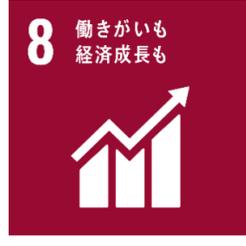
所管部署名 肝胆膵消化器病学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	配布物はメールの添付の形をとり、印刷物を減らす。	15.3	 陸の豊かさも守ろう	配布物は署名など必要な書類をの像いですべてメール添付の形をとり省資源を行った。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	廃棄物の分別を厳格化する。	7.1	 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	紙やインクなどグリーン商品と明記されているものを購入する。	7.1	 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	積極的にグリーン商品は購入せず値段で決めていた。これからはグリーン商品を購入する。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使っていない部屋の電気を消す。 エアコンの設定を適切な温度にする。	7.1	 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	使用していない部屋の消灯を積極的に行った。働き方改革に伴い、は短縮化している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある環境	働き方改革の推進 残業時間の短縮	個人の業務負担を適切にする。 当直明けの休息時間の確保	8.5	 働きがいも 経済成長も	体調管理に気を付け、意識的に休養を取り、リフレッシュにいそしんだ。
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

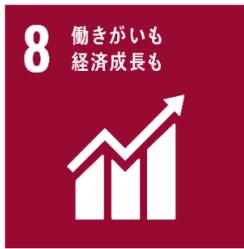
所管部署名 消化器・腫瘍外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	カンファレンスや勉強会のお知らせの共有は、紙面での回覧ではなくchat work等のアプリやメールでの共有とする 文献等の保存は各自で可能な限りソフトで保存する。	12.5		カンファレンスで使用する紙面の廃止をした。(情報漏洩防止も含む) プレゼンテーションは電子カルテを使用する。 連絡事項はchat work活用できていた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別の徹底 ペーパーレスへの移行	12.5		分別は徹底されていた。 ペーパーレスに関しては例年同様に削減することはできなかった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	教室内の購入物のグリーン商品への移行	12.5		施行できず。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	夜間、休日の教室内不在時の消灯の徹底 空調の過剰な利用をしないように心掛ける	7.3		夜間、休日は各自消灯を心がけるようになった。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある労働環境	働き方改革の推進 残業時間の短縮	出勤時間のフレキシブル性の徹底	8.5		産休、育休や有休を消費することができていた。 体に負担がない働きができています。
次年度の課題	電子カルテからの無駄な用紙の印刷削減、グリーン製品への移行				
環境活動者の取り組み評価	電気使用に関しては教室内で心がける意識が芽生えていた。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 産婦人科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での閲覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定しておく 記録室での印刷物削減	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	電子カルテ以外のPCは概ね両面設定にされている。 当科では退院サマリのチェックのため印刷する慣習があり、病棟医長に枚数を減らす提案をしていたが、今年度内には変更できなかった。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	医局、記録室のごみ分別は徹底されている。 クリアファイルも使い終わったものをストックする場所があるので、再利用できている。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	時間がなく、あまりチェックはできなかった。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7.3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	使用していない部屋の消灯は比較的徹底されている。冷暖房も適正に使用できている。 業務効率化や残業の短縮化は前年度と比較するとあまり進まなかった印象であった。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	チーム制の意識づけ 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保 有休休暇取得の促進 外勤を含めた労働時間の超過チェック	8.5	8 働きがいも 経済成長も 	チーム制にして3年目になるが、概ね浸透してきた様子である。常勤医と外来専任医との連携も前年度よりはとれていた。 有給休暇の取得は前年度より促進された。働き方改革にむけ、外勤を含む労働時間の超過チェックがなされた。
次年度の課題	今年度pendingされてしまった退院サマリの印刷削減 グリーン購入品の促進、備品在庫の確認をもう少し頻繁に行う 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進				
環境活動者の取り組み評価	今年は自科のカンファレンス内で本シートを供覧して全員への意識づけを行えた。 印刷物の削減は既に慣習化しているものへの変更を上級医にお願いしているが、忙しい業務のなか、議論を後回しにされてしまう傾向にあり、今後も働きかけを行う。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 泌尿器科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	資料を電子メールにて情報共有するなどして、コピー用紙の削減を目指す	15.2	 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	電子メールによって情報共有を行い、コンピューター上で資料を確認することによって、コピー用紙の使用量が抑えられていた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	実験器具や容器等のうち、再利用可能なものについては、洗浄や滅菌することにより可能な限り繰り返し使用し、廃棄物の削減を目指す インクのトナー容器を回収し、再利用を行う	12.5	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	洗浄、オートクレーブによる高圧蒸気滅菌、乾熱滅菌を使用することで実験器具および容器を可能な限り再利用し、廃棄物の削減を促進することができた。 インクのトナー容器の回収および再利用が行われていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	森林が持続可能に管理されていることを検証・保証する森林認証(PEFC)マークの付いたコピー用紙を使用し、地球環境の保護を目指す	12.5	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	取り組み予定通り、森林認証(PEFC)マークが付いたコピー用紙が使用されていた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	実験器具などの洗浄時に節水を心がける 各部屋の退出時に消灯を意識し、節電を行う	7.3	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	実験器具の洗浄等において、適切な水量と洗浄時間を意識した節水への取り組みが実施されていた。 退出時の消灯に加え、退勤時に使用されていない部屋が消灯されているかを改めて確認するといった節電への取り組みが実施されていた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	適切な試薬の使用および保管の徹底	手袋の着用や薬品の転倒防止等の対策を講じることにより、実験者への健康被害を防止する	12.4	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	実験用手袋を着用し、安全に配慮した試薬の使用が行われていた。 また、試薬棚には転倒や落下を防止するための棒およびガラス扉が設けられており、安全対策が講じられていた。
廃液の適切な管理	廃液分類の徹底 特定事業場からの排水に関する水質基準のクリア	薬品を使用した容器等は最低2回以上の洗浄を行い、その時に生じたすすぎ液は廃液ポリタンクへ回収することを徹底する 廃液ポリタンクに廃液番号と該当する主な薬品名を付箋に記載し、研究室メンバーの適切な廃液処理を促進する	6.3	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	本学の安全マニュアルに基づき、容器体積の5~10%程度の水等を用いて可能な限りの振とうを伴う最低2回以上のすすぎと、すすぎ液の廃液ポリタンクへの貯留が実施されていた。 各ポリタンクの廃液番号および該当する本研究室での使用頻度が高い試薬名を付箋に記載することで、適切な廃液処理が実施されていた。
次年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実験用チップ等やむを得ず使い捨てで使用するものも、詰め替えタイプの商品を積極的に利用する等の取り組みにより、廃棄物の削減を目指す ・照明の他、継続して稼働している必要のあるものを除き実験機器の電源が使用后オフになっているかを確認し、節電をより徹底する 				
環境活動者の取り組み評価	電子メールによる情報共有の促進により、迅速な情報伝達とコピー用紙の削減ができていた。 廃液のすすぎ方や分類に関する情報を分かりやすく掲載することにより、廃液処理のミスを防ぐとともに、スムーズな実験の実施に寄与していた。 来年度は上記の課題を踏まえ、より環境に配慮した取り組みを実践していきたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 放射線診断学教室

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	資料の共有などは、メールやTeamsを用いて行	12.5		部署内で意識を共有して取り組めたと 思います。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別、機器の再利用	12.5		ゴミの廃棄期間（粗大ゴミなど）を共有するなどして、分別や再利用の意識を持つことができたと思います。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	新規購入機器に関して、カタログなどで事前	12.5		部署内で意識して取り組めたと 思います。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房使用の最適化。帰宅時に消灯や電気ポ	7.3		部署内で意識して取り組めたと 思います。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	上記の目標、取り組みを継続していきたいと 思います。				
環境活動者の取り組み評価					

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	オンライン会議を推進し、お知らせや資料はメールで共有、コピー用紙を削減する印刷設定をPCで両面設定にしておく	12.5		お知らせや資料はメール共有され、印刷物が削減されている。印刷設定を両面設定にしている。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ箱にわかりやすく表示、リサイクル率を上げる	12.5		ゴミ箱に表示することで、分別意識が高くなり、リサイクル率向上に繋がっている。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入時、カタログ又は見積先に確認を行う	12.5		グリーン商品があるものは、グリーン商品を購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	センサーライトの購入提案 冷暖房温度の適正使用 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛	7.3		使用していない部屋の消灯や冷暖房温度の適正使用は、積極的に行われている。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
研究室 試薬・消耗品の管理	過剰在庫の削減	使用簿受払簿等活用し、重複しないよう管理	12.4 12.5 6.3 7.3 13.3	 	全般に取り組んでいる。週一回、研究室全員で実験環境の整備を行っているので、確認となり意識向上に繋がっている。
実験ゴミ分別の徹底	燃やすゴミ減量化	ゴミ箱にわかりやすく表示、リサイクル率を上げる			
実験排水の管理	三次洗浄水まで廃液ボトルに保管	三次洗浄水廃液ボトルを作り廃液を保管			
実験機器の整備	メンテナンスによる機器の安全・保護	メンテナンス時期を機器ごとに表示、適宜実行			
実験室の節電	使用していない機器の電源オフと部屋の消灯	実験終了時、退室時の確認			
次年度の課題	出来ている項目（ゴミ分別、使用していない部屋の消灯、適正な温度設定、コピー用紙削減等）の継続と定着していない項目（グリーン商品購入促進、印刷設定の両面設定等）の周知工夫を行い、習慣化していく。部署内で浸透していない取り組みの共有（目立つところに掲示）を図る。				
環境活動者の取り組み評価	ゴミ箱分別表示は効果的であった。お知らせや資料のメール共有は浸透し、印刷物が削減されている。意識に個人差があるので、どの項目も継続的に取り組み、習慣化を目指す。 カンファレンスにおける患者リストの印刷取りやめなどの新たな取り組みを来年度以降に検討している。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 組織学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	原則両面印刷 コピー裏用紙再使用の促進 2アップの推進 研究室での会議では、資料を原則としてEメールで配布し、プロジェクターを使用	11.6		研究室での会議では、資料をEメールで配布し、プロジェクターの使用をほぼ100%できた。2アップや裏用紙再利用は概ね守られていた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別の徹底、特にコピー用紙、ミックスペーパー、雑誌の分別 古紙類の再利用	11.6 12.5	 	ゴミの分別は徹底されていた。特に、ミックスペーパーの分別に力を入れることができた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	事務用品のグリーン商品への切り替え 見積先への確認	11.6		事務用品のグリーン商品への切り替えが概ねできた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化、ブラインドの使用 研究室会議でのパソコンとプロジェクターの使用 パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 エレベーター利用の自粛(2UP, 3DOWNは階段を利用) 水の垂れ流しの防止 使用していない部屋と昼休み中の消灯	7.1 11.6	 	使用していない部屋の消灯を積極的におこなった。桶などを用意して水の垂れ流しを防止した。エレベーターの利用の自粛を促した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく。ゴミ分別、消灯などは徹底できるようにする。 残業時間の短縮促進と業務のスリム化。				
環境活動者の取り組み評価	ゴミの分別や、消灯などは昨年度に比べて非常に良くできたと思う。 昨年度に続き、研究室での会議は全てプロジェクターを使用して行うことができた。 エレベーターの利用の自粛を促したが、個人差が非常に大きいと感じた。年齢や体力に違いがあるので仕方がないことであるが、少しずつ浸透させていけるようする。 残業短縮や働き方改革は、本教室の大きな課題の1つである。様々な都合で難しい課題ではあるが、教室全体で取り組んでいく。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 神経解剖学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	会議資料やセミナーの資料はファイルで共有することとし、紙媒体で配布しないこととする。 PCの基本設定を両面印刷にする。	15.2		教室内の会議資料やセミナーの資料はzoomでファイルを送信するのみで紙媒体は配布しないことが常習化した。印刷する場合は両面印刷が基本とした。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルや封筒など不要備品の再利用	12.5		ゴミは徹底して分別することができた。ファイルや封筒を再利用し新しい備品を購入する回数が減少した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	可能な物品はグリーン購入100%を目指す。 どのような物品にグリーン商品があるか教室内に掲示する。	12.5		可能なものは全てグリーン購入に切り替えた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	不在部屋のこまめな消灯 不使用時の機器の主電源OFF	12.8		実習などで不在となる部屋の消灯を行った。使用していない機器は主電源を切った。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	試薬の適切な管理	使用簿、受払簿の記入 廃液の適切な処理	12.4		使用簿、受払簿の記入は教室員全てが適切に行えたと考えている。廃液の処理も適切に行われたと考えている。
次年度の課題	適切に行われているか確認するために頻繁な点検が必要である。特に、4月からリサーチクラークシップの学部生が新たに実験室を利用するので、適切に行えているかよく確認しなくてはいけない。委員以外の教室員にも呼びかけて助けてもらう必要がある。				
環境活動者の取り組み評価	教室員のご協力のおかげで、定めた目標はほとんど達成することができた。これらを継続することができるように今後も頻繁な確認を行い、改善が必要な点を発見した場合にはお願いし維持していきたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和3年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 生化学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	平成30年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー枚数の削減（コピー裏用紙再使用の推進、2アップ（2枚分を1枚にコピー）） ・コピーによる回覧の原則禁止（スキャナーで読み取った電子ファイルを一斉送信して回覧、Eメールでの転送） ・ペーパーレス会議（会議や打合せなどでのパソコンプロジェクターの使用） 		コピー枚数の削減も概ね実施できている。電子ファイルでの回覧、ペーパーレス会議は実施できている。今後、これらの継続に努める。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和2年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ減量化に関する取組み（ゴミ分別の徹底、不要備品の再利用、持ち込みゴミの禁止） ・ゴミの資源化（ゴミ分別の徹底（特に古紙類のミックスペーパーの分別を徹底）） 		実施できている。今後も継続する。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品、備品についてグリーン購入促進への取組み（カタログ又は見積先に確認、見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼） 		グリーン購入は積極的に実施できていないため、今後、購入促進に努める。
省エネルギーの取り組み	平成30年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プリンター、コピー機の電気の削減（パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定） ・冷暖房の効率的運転（冷暖房温度の適正化、ブラインドの使用） ・消灯（夜間）の徹底（使用していない部屋、トイレや廊下のごまめな消灯） ・エレベーターの利用（利用の自粛（2UP、3DOWNは階段利用）） ・節水の励行（垂れ流しの防止） 	 	概ね実施できているが、実施状況に個人差があるのも現実であるので、継続的に注意喚起する必要がある。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理		実施できている。今後も継続する。
実験排水の管理	水質汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化に努める。	有害な化学物質については、三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄、内容物カードの記載		実施できている。今後も継続する。
次年度の課題	消耗品、備品については、グリーン商品の購入促進に努める。省エネルギーの取り組みについては、職場メンバーへの継続的な注意喚起が必要である。			
環境活動者の取り組み評価	大部分の項目で概ね実施できている。次年度の課題を解決できるように、教室員全員が環境管理取組リストの内容に沿って活動し、各自が環境保全への取組みを継続できるように促していきたい。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 分子生物学教室

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> 必要部数を確認し印刷部数を削減 ミスプリントの防止を呼びかけ 2アップ・4アップでの印刷 Teamsを活用したファイル共有により、プリント物を削減 	12.5		今年度からTeamsを活用するようになったため、これまでにミーティングや周知のために印刷していた印刷物を削減できた点は大きな成果だと感じる。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ分別を徹底する ミックスペーパーの回収の徹底 	12.5		例年通り、ゴミの分別・再利用とミックスペーパーの回収については、これまで通り徹底されていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	例年通り、部署内でグリーン購入について周知し、グリーン購入を徹底	12.5		基本的には、グリーン商品の購入が徹底されていた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> 使用していない部屋・トイレの消灯をこまめに行う エレベーター利用の自粛 (2 UP、3 Downは階段利用) 使用していないPC、実験機器の電源を切る 	7.3, 12.2	 	教室員が自発的に電気の消灯・PCの節電に努めていた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬管理	試薬の適正な管理の徹底	試薬使用簿・受払簿への記入の徹底。また、使用簿・受払簿の電子化への移行の準備を進める	12.4, 12.5		試薬使用簿・受払簿の記入を徹底するよう周知した。教室全体としては、これまで通り記入は徹底されていた。
廃液管理	廃液管理の徹底	適正な廃液処理の方法を部署内で共有し、廃液管理簿への記入を徹底する。	6.3		試薬使用簿・受払簿の記入を徹底するよう周知し、実際に管理できていた。
次年度の課題	概ね目標を達成できたものの、使用簿・受払簿の電子化への移行は未だ滞っている現状である。次年度は移行を完了させたい。				
環境活動者の取り組み評価	例年通り、試薬管理、廃液管理について規定に則り、大変良く管理されている。次年度は、今年度達成できなかった点を改善できるよう取り組んでいきたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 薬理学教室

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	できるだけ紙の印刷をせずに、電子情報でやり取りする。	12.4 12.5		できるだけ紙の印刷をせずに、電子情報でやり取した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	不必要な物品は買わず、また、資源ゴミの再利用を促進する。	12.2 12.4 12.5		不必要な物品は買わず、また、資源ゴミの再利用を促進した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	できるだけ、グリーン商品を購入する。	11.6		できるだけ、グリーン商品を購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	人のいない部屋の電気を消す。	7.3		人のいない部屋の電気を消した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	来年度も目標達成を目指す。				
環境活動者の取り組み評価	今年度は概ね目標を達成できた。来年度も真摯に課題に取り組み、目標達成に努める。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 R I 研究センター

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	両面印刷が可能なものは両面印刷にする。データで保管できる資料はコピーではなくPCに保管する。	12.5	12 つくる責任 つかう責任	両面印刷できる印刷物にはほぼ徹底できた。データ保管についてもかなりコピー用紙の削減につながったと思われる。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別を徹底する。	12.5	12 つくる責任 つかう責任	分別用のゴミ箱を設置し分別を行い、ゴミをまとめる際も注意しながら分別に務めた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	注文時にグリーン購入適合品があるものはそちらを購入する。	12.5	12 つくる責任 つかう責任	カタログを確認しながら注文を心がけた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	実験者がいない場合は日中でもメインの場所を除き消灯を心がける。	7.3 12.2	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任	実験者の立入りが少ない階は実験者が利用する時以外は消灯をした。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
放射線の知識の周知	放射性同位元素を扱う上での安全性向上への周知	放射線業務従事者教育訓練を通して放射線防護上の知識を周知させ、被ばくによる障害を避ける。	3.9	3 すべての人に 健康と福祉を	新規利用者に対する教育訓練を行い、安全に実験ができるように放射線防護上の知識を周知した。
実験排水の管理	RI廃液について一次浄水までを無機廃液、その後の排水は貯留槽内での減衰を待ち、排水基準を守る	放射線業務従事者への廃液取り扱いについての周知を行う。 また、RIの排水については水による希釈をせずに減衰を待つ。	6.3 12.2	6 安全な水とトイレ を世界中に 12 つくる責任 つかう責任	希釈をすることなく法令基準値以下で放流することができた。
次年度の課題	共通項目に関しては、次年度も今年度を振り返りながら管理室員でアイデアを出し目標を立て達成を心がけていきたい。 所管業務に関しては例年通り放射性物質を安全に取り扱える環境を整えていきたい。				
環境活動者の取り組み評価	各項目について概ね取組んでいた。次年度も目標を達成できるように環境対策に取り組んでいきたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 免疫学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	文献の印刷を控える。 文書はできるだけデータで扱い、印刷する場合は両面印刷する。 共有する情報はメールを用いて、紙媒体を使わない。	15.2		文書の印刷はできるだけ控えるようにした。また、印刷するときは両面印刷するようにした。また、文書の共有はできるだけデータで共有した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	実験計画・方法を工夫することで使用する試薬・消耗品を最小限にする。	11.6		実験計画・方法を工夫して使用するプラスチック消耗品の使用量を最小限にした。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入法適合商品の購入を推進する。	12.5		印刷紙は全てグリーン購入法適合商品を購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない機器の電源は消す。	7.3		使用していない機器の電源はできるだけ消すようにした。特に恒温槽、オートクレーブなどは使用時に電源を付けるように意識した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
教室内のセミナー資料の電子化	配布資料の電子化	セミナーや研究のディスカッションの配布資料を可能な限り電子化する。	12.5		セミナーや研究のディスカッション資料はメールやZoomで電子ファイルを共有することで、印刷物を削減した。
次年度の課題	次年度においても今年度と同様に省資源、リサイクルに対する目標達成に向けて努力する。また、今年度は4月の初めの教室オリエンテーションで教室の目標とSDGsについての説明をし、教室メンバーに対するSDGsの意識向上に務めたが、免疫学ではメンバーの数が増加傾向にあるため、次年度はこの回数を増やし、さらにはメールリストを用いてSDGsの情報を共有することによりメンバーに対する意識向上に務めたい。				
環境活動者の取り組み評価	今年度は教室内のセミナーは50%Zoomで行い、50%対面とZoomのハイブリッドで行った。いずれのセミナーも紙媒体の配布物はせず、データでの共有を行った。今年度は、SDGs意識が乏しい学生の大量印刷が何度か見られ、その都度注意をした。全体としては、印刷物の使用頻度が減り、結果的には省資源への取り組みの目標を達成できたと考えられる。同様に実験に対しても、無駄なく効率よく研究することを個人レベルで意識できるようになり、その結果試薬や消耗品などの無駄な使用が減らせたのではないかとと思われる。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部所名 病態病理学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	学生向けハンドアウトを配布しないことによる紙資源使用量の削減 なるべく両面印刷を行う	15.2		学生向けハンドアウトを配布しないことによる紙資源使用量の削減を行った なるべく両面印刷を行った
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	裏紙の再使用やリサイクル推進 ゴミの分別を徹底する	12.5		裏紙の再使用やリサイクル推進した ゴミの分別を徹底した
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品であることを確認する	12.5		グリーン商品であることを確認した
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	不必要に強力な冷房を切る エレベーターの使用を避ける 使用していない機材の電源をこまめに切る	7.3		不必要に強力な冷暖房を避けた エレベーターの使用を避けた 使用していない機材の電源をこまめに切った
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
有機溶剤の適正廃棄	廃棄事故を起こさない	廃棄ルールの徹底	6.6		廃棄ルールの徹底した
次年度の課題	同様の内容を推進する。				
環境活動者の取り組み評価					

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 _____

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	文書は可能な限りデータで扱う 印刷が必要な場合は両面印刷で行う。	11.6		文書は可能な限りデータで扱うようにした。両面印刷でかまわないものは両面印刷で行った。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別を行う。 ごみの持ち込みはしないようにする。	12.5		ゴミの分別は可能な限り実行してきた。ごみの持ち込みは無かった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	物品購入前に在庫の確認を行う。 実験スケジュールに合わせ、使用期限を確認してから試薬の購入を行う。	7.3		実験室の整理を行い、物品の有効期限や在庫状況を確認し易くした。新たに試薬を購入する際は使用期限を確認して発注する。それにより不必要な物品購入を無くすることができた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない部屋の消灯を行う。	12.5		使用していない部屋については消灯するよう心掛けた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
実験試薬の適正管理	使用簿・受払簿の適切な管理	劇毒物・有機溶剤などに関して、使用簿・受払簿を作成して適切に管理する。	12.5		劇毒物・有機溶剤などに関して、使用簿・受払簿を作成して管理した。昨年から引き続き、今後使用する見込みの無い試薬は処分する方向で準備を進めている。
次年度の課題	引き続き、文書は可能な限りデータで扱うようにする。印刷も可能な限り両面印刷にする。ごみの分別は引き続き行う。使用していない部屋についてはこまめに消灯するよう努める。試薬管理等についても整理整頓を心掛ける。劇毒物・有機溶剤の使用簿・受払簿を作成して適正管理に努める。以上を、教室全体に呼びかけ行き渡るようにする。				
環境活動者の取り組み評価	年度当初の目標を達成できたと考えている。来年度は達成された状況を維持できるよう、教室内での周知に努めたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 遺伝学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	資料の共有は、紙面での閲覧ではなくメールでの共有とする。 印刷の設定を両面設定にしておく。 詰替商品など活用する。	12.5	12 つくる責任 つかう責任	お知らせ資料は基本的に全て電子ファイルで共有することができた。研究室内のカンファがオンラインから対面に回帰したことで、紙面での資料共有となったものもあり、来年度の検討課題である。裏紙回収用のレタボックスを設置することで、裏紙使用が推進できた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別を徹底する。 マイボトルの使用 ペットボトル回収 マイボトルの使用 古紙の適切な分別	12.5	12 つくる責任 つかう責任	ミックスペーパー、雑誌・カタログ、新聞・チラシ用の回収ボックスを設置するなど分別の徹底に務めた。不適切な分別が認められた場合は、メールリストで周知を行い、ゴミ箱に注意喚起の張り紙を掲示した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品の一部購入（ファイル、蛍光ペン、テープのり、ティッシュペーパー等） カタログ又は見積先に確認を行う	12.5	12 つくる責任 つかう責任	グリーン購入法適合マークの記載がある商品（チューブファイル等）を購入した。またテープ糊、修正ペンは詰替タイプを使用することでゴミの削減に務めた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	不要な照明の消灯 使用していない電気製品、実験機器の電源OFF コピーの待機時省電力機能の設定 冷暖房温度の適正化(27-28℃程度)とサーキュレータの併用 階段利用 2アップ3ダウン	7.3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	コピー機は不使用時の節電モード設定が徹底されていた。夏季は扇風機との併用により室温の適正化と節電に取り組んだ。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
環境上適正な化学物質、廃棄物の管理	使用試薬の正確な把握	使用簿、受払簿の適正な管理を行う 劇毒物の保管庫の施錠管理を徹底する 試薬棚に使用簿への記入を喚起する張り紙を掲示する 安全マニュアルを試薬棚に配置し取り扱いの確認を啓蒙する	12.4	12 つくる責任 つかう責任	使用簿を保管場所ごとに分けて設置し書き忘れ防止に努め適正な管理を行った。

次年度の課題	研究室内のカンファがオンラインから対面に回帰したことで、紙面での資料共有となったものもあり、来年度の検討課題である。本当に紙面での共有が必要な資料であるかどうか、話し合う必要がある。グリーン購入法適合マークの対象商品について認知度が低いように感じられたため、具体的に研究室で使用している物品について具体的に提示するなど更なる周知が必要と考えられる。
環境活動者の取り組み評価	研究室全体としてゴミの分別、省エネの取り組みへの意識は概ね浸透しているように思われる。

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 健康社会医学ユニット

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン講義に伴う配布資料のデジタル化 ・オンライン形式での試験を実施 ・原則ペーパーレス会議を実施 	12.5		左記の全ての取り組みを問題なく遂行した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル類の再利用を行う ・学内の再利用品物品コーナーを活用 ・原則両面印刷を行っている ・ミックスペーパーは古紙として出す。 ・その他ごみの分別の徹底 	12.5		左記の全ての取り組みを問題なく遂行した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した用紙を用いるよう心掛ける ・環境管理責任者による啓発・確認を行う 	12.5		左記の全ての取り組みを問題なく遂行した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた軽装で業務に当たる ・各部屋に扇風機を配置し、冷却効率と換気を高める ・パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 ・ブラインドの使用 ・使用していない部屋の消灯 ・2UP、3DOWNは階段利用 ・水道水の垂れ流しの防止 ・業務の効率化にて残業の短縮化 	7.3		左記の全ての取り組みを問題なく遂行した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	次年度は特に電力削減についてより一層の努力が必要となると予想される。教室として早くから準備していきたい。				
環境活動者の取り組み評価	各項目についてまんべんなく、可能な限りの取り組みが遂行できたと評価する。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和3年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 法医学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	平成30年度実績値をベースに、3年間で3%削減	両面印刷または裏紙を使用して印刷する。 研究室のミーティングはTeamsやZoomで行い、資料は電子ファイル化して情報共有する。	12.5 	印刷物は両面印刷または裏紙を使用した。 教室内連絡事項は全てTeamsで情報共有した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和2年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底する。 使用済みファイルの再利用。	12.5 	ゴミを適切に分け、分別化を徹底した。 不要になったファイルも再利用した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	業者にグリーン購入が可能な商品か確認する。	12.5 	グリーン商品を確認し、購入した。
省エネルギーの取り組み	平成30年度実績値をベースに、3年間で3%削減	不在の際に空調の電源をOFFにする。 機器の省エネ機能を活用する。 最後に退社する人が各部屋の照明や機器の状況をチェックする。	7.3 12.2  	帰宅時や解剖などでスタッフが不在の際、空調や照明を切った。 席を離れる際、パソコンをスリープモードにするなど省エネ機能を活用した。 常時稼働の必要な機器以外は未使用時、電源を落とした。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
法医解剖や検案に使用する消耗品の節約	解剖および検案で使用するガウンやマスクなどを節約する。	最低限の人数で解剖業務を行い、消耗品の消費を最小限にする。	12.5 	解剖に従事するスタッフを当番制にし、消耗品の消費を減らした。
次年度の課題	今年度行った取り組みを継続し、次年度も環境管理を徹底していく。次年度は教室員が増えるため、その方々にも徹底してもらえよう促す。			
環境活動者の取り組み評価	昨年度と同様に教室員が各自、徹底したことで今年度の取り組みはいずれも達成できた。来年度も引き続き徹底していきたい。			

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 生命医科学研究科 _____

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	コピー用紙の削減	12.5		事務への発議書類年間450件分(約2250枚分)のコピーを約30件分(約150枚)以外全てデータで保管をするようにしたので、コピー用紙、保管場所、廃棄手続きの削減が出来た。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 詰替え可能商品は、詰替え品の購入	12.5		リサイクル可能なプリンタートナーを生協へリサイクルへ出す事を徹底した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	事務用品購入時に随時グリーン商品適合サイトを合わせてチェックをするようにする	12.5		事務用品購入時に全てのチェックをする事は出来なかった。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない部屋や機器の消灯の徹底	7.3		使用していない部屋の消灯は、出来ているが、機器類の消灯の徹底がなかなか出来なかった。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
海の豊かさを守ろう	研究室内でのプラゴミリサイクルの徹底	ペットボトルの蓋とラベルのみプラゴミ ペットボトルは、リサイクルゴミとして出すようにする	14.1		ゴミ箱にテプラで蓋とラベルはプラゴミと記載をし徹底する事が出来た。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく(ゴミ分別、消灯、リサイクルなど)グリーン購入品の促進をする。				
環境活動者の取り組み評価	各委員会のお知らせメールの共有を徹底出来ていないので、来年は環境管理委員会の活動を教室内で共有出来るようにしていきたい。いまだグリーン購入品への意識は高くないため、来年は促進していきたい。発議書類のコピーを0として更に省資源を目指していきたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 プロテオーム解析センター

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> 原則両面印刷、2アップ印刷を推奨 文献はPDFファイルで閲覧 連絡事項はチャット、Eメールによりペーパーレス化 	12.5		コピー用紙は両面印刷、2アップ印刷を心がけた結果、必要最低限の使用であった。文献閲覧はネット閲覧を徹底した。連絡事項はウェブ会議を利用してペーパーレス化を実現した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ分別の徹底 ミックスペーパーの分別を徹底 備品の再利用 	15.2		ミックスペーパーの分別を徹底したため燃やすゴミの減量化を達成。備品は作動不良時は廃棄にせず修理可能である事を確認して再利用を心がけた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> カタログ、見積時にグリーン適合品を選択する グリーン商品である事を確認し優先的に購入 	12.5		グリーン適合品を優先的に購入した。カタログはネットでの確認に徹底し製品は購入する前に必要性を十分に考え、長期間の使用を考慮した上で購入した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 使用していない部屋のこまめな消灯 エレベーター利用の自粛 節水のため器具洗浄時の垂れ流し防止 冷凍庫、冷蔵庫の開閉時間の短縮 	7.3		パソコン、コピー機の待機時省電力、こまめな消灯、エレベーター利用自粛を徹底した。器具洗い時の節水も実行できた。冷凍庫の開閉も引き出しの利用により必要以上に開閉する事がなかった。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬、消耗品の把握	試薬棚、冷蔵庫内の試薬をチェック	<ul style="list-style-type: none"> 試薬、消耗品の発注はMicrosoft OfficeでExcelファイルを共用し重複を防ぐ 試薬は共用し期限切れ廃棄をなくす 	12.5		試薬購入時は必ず在庫、発注履歴を確認して重複を防いだ。また購入希望リストを部署内全員で共用した事により、無駄な購入をしなかった。
廃液管理	廃液の管理を徹底する	<ul style="list-style-type: none"> 廃液管理簿への記入を周知する 実験排水処理方法を再度確認し実行する 	6.3		廃液管理簿への記入を徹底した。実験排水処理を再確認した。
次年度の課題	廃棄物の減量化を目指しゴミの分別を習慣化していく。特にペーパー類は細分化されているのでさらなる見直しが必要だと思われる。また試薬、消耗品は必要であるかを考慮してから重複を避けた購入を心がける。機器の故障は修理可能かを確認して無駄な購入は避ける。連絡事項は引き続きPCチャット、Eメールを利用しペーパーレスを目指す。				
環境活動者の取り組み評価	自らの行動に責任をもち、環境に配慮した取組みを実施したことにより、年度目標を概ね達成できたと考え。しかし、ごみの分別などに課題も残っており、来年度も引き続き様々な面で環境対策に取り組みたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 薬剤部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	回覧事項は原則としてEメールを使用。 可能なものは両面印刷と2アップでコピーを行う。	12. 2		原則、連絡事項はメール等で行われていた。業務連絡会でも資料の配付は行わず、電子媒体で共有を行って、ペーパーレス化を行っている。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	資源ごみ分別を徹底する。 不要備品の再利用を行う。	12. 2		分別用のゴミ箱が設置されており、主要な資源ごみである医薬品の包装箱、薬包紙、医薬品のPTPシートなど種別別に分別できている。また、再利用できそうな備品は整理して保管した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	同等品があれば優先的にグリーン商品を購入する。	12. 2 12. 7		可能であればグリーン商品を購入するように取り組んだ。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	当直時の不要な照明の消灯	7. 3		当直時に不要な照明の消灯に努めた。年度途中で薬剤部内の照明のLED化の工事が行われたので、そのことも省エネルギー化に寄与されたと思われる。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り	
試薬、廃液の取り扱い管理	試薬、廃液の拡散を極力防止する。	製剤室で取り扱う試薬の受払簿、製剤調製時に発生する廃液の適正管理。	6. 3 12. 4	 	試薬の受払簿、廃液は適正に管理できた。
薬品保管用冷蔵庫の更新(ノンフロン)	消費電力、化学物質(フロン)放出の削減	機器更新にあたり、ノンフロン型を選択、また消費電力の削減も見込む。	7. 3 12. 4	 	冷蔵庫の更新にあたり、ノンフロン型の冷蔵庫を購入した。旧機種からの買い換えであるため、結果として消費電力の削減、廃棄時のフロン放出も削減できたと考えられる。
次年度の課題	次年度は、院内周知文書のペーパーレス化に取り組む。薬剤部は新入職員を含め、研修生、臨時職員等一定数の職員の入れ替わりがあるので、引き続き環境活動の取り組み、周知に努めていきたい。				
環境活動者の取り組み評価	今年度の取り組みは概ね良く出来たと考える。処方せん等は紙を使用する規則があり、部内の努力では削減は難しいところがあるが、その他の取り組みを引き続き、継続して行きたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 臨床検査部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	2021年度実績値をベースに、1年間で1%削減	PCで作業が完結できる資料はPDF化して紙を使用しない運用にする。		12 つくる責任 つかう責任 	会議でモニターを活用して紙を削減した。ISO15189の手順書管理をPDF化して紙を削減した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	2021年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上	検査試薬を大量に使用するため、紙を資源ごみに分別する。		12 つくる責任 つかう責任 	資源ごみにできる紙の分別ができた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入商品でグリーン購入できるものを調べ、代替え可能であれば、切り替える。		12 つくる責任 つかう責任 	購入できるものは切り替えた。
省エネルギーの取り組み	2021年度実績値をベースに、1年間で1%削減	使用していないパソコンは電源を切る。当直時は使用していない場所の電気を消す。水の使用に注意する。		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	節電を部内の職員に意識させた。機器更新に伴い、機器洗浄時間設定が細かくできたので節水につながった。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	今年度できたことを継続していく。				
環境活動者の取り組み評価	働き方を見直し、残業削減がSDGSにつながることを職員に浸透させていきたい。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 病理部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	コピー用紙の削減	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	概ね達成できた
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不要物品の再利用	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	概ね達成できた
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログや見積もりでより安価な物品を購入	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	概ね達成できた
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 エレベーター使用の自粛 業務効率による残業の短縮	7.3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	概ね達成できた
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理 使用簿、受け払い簿の 適正な管理	試薬の適正な使用 環境上適正な使用	試薬の管理を徹底し、期限切れなどの無駄な	12.4	12 つくる責任 つかう責任 	概ね達成できた
次年度の課題	使用していない部屋があまりなかったため、あまり節電ができなかったため集中して使用できるようにしたい				
環境活動者の 取り組み評価					

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 放射線部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	メモ用紙等について裏紙を使用 両面印刷の活用を促進 印刷物の用紙サイズ縮小化	15.2		感染対策上、裏紙は使用せず、配布資料や会議報告、申請書類を電子化に移行した。また、検査受付票をA4サイズからA5サイズに縮小したことで、年間使用量を半減させることができた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底 (特に古紙、ミックスペーパー)	12.5		分別用ゴミ箱を整備した。不要になった物品のリユースを積極的に実施した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログ、資料等の電子化 グリーン購入について部内職員へ周知	12.5		カタログ、資料等の電子化を促進した。また物品購入の際は、極力汎用品を選択した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない検査室、操作室の消灯装置、電子機器の電源OFF	7.3		消灯や機器の電源OFFについて、部内全体に周知を行った。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
紙の削減 書類の電子化	会議資料、回覧資料の電子化 オンライン会議への継続と安定化	Teams、OneDriveを活用し、書類を電子管理する。 会議はオンライン方式を継続し定着させる。	15.2		Teams、OneDriveを活用し、書類を電子化した。また、オンライン方式による会議や研修を継続し定着させることができた。
次年度の課題	昨年度に引き続き、印刷物の削減とペーパーレス化を整備することができた。次年度は検査受付票の一部廃止について取り組む。				
環境活動者の取り組み評価	今年度の取組と目標については、当初の予定通り達成できたと思います。特に紙の使用量については、受付票をA4サイズからA5サイズに変更することで、年度の途中からにはなりますが、使用量を半分にする事ができた事を評価します。次年度は、受付票の廃止など、更なる削減を期待します。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 看護部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	1. コピーを削減することで、用紙とインクの使用を減らす 2. コピー機の電気代の削減	12.5		1. 電子カルテの改定のため、必要な書類を全て印刷する必要があったが、必要最低限とし、災害時の用紙として流用した。 2. 使用していない時は、節電モードにした。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	1. 活用できるものは再利用する 2. 物は丁寧に扱う	12.5		1. ファイルなどは、使いまわしで活用した。 2. 粗大ごみに出したものはなかった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	1. グリーンマークが付いていることを確認して、優先的に購入する	12.5		1. 使いまわしで、新規購入を見合わせた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	1. 使用していない部屋のこまめな節電 冷暖房を切る、PCの電源を切る等 2. エレベーターをできるだけ使用しない	7.3		1. 冬季は暖房を切り、衣服で調節した。 2. できるだけ階段で移動した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
廃棄物の管理	古紙の適切な分別	1. 紙ゴミ、古紙を他の燃やすごみと分けて捨てる 2. クラウドでの情報共有	12.5		1. ごみをお互いに注意しながら、分別した。プラスチックごみは洗って捨てるなど、リサイクルに協力した。 2. 議事録確認の際は、ワンドライブで用紙を出力することなく、確認した。
働きがいのある人間らしい雇用	残業時間の短縮	1. 役割分担して個人の負担を軽減する 2. 当直明けに時間で帰宅する 3. No残業Dayを作る	8.5		1. 業務分担を行い、残業時間の減少に努めた。 2. 当直明けは、時間外を行わないようにできた。 3. 固定は出来なかったが、業務が終了次第帰宅出来ている。
次年度の課題	既存会議でのクラウドを推奨し、資料のペーパーレス化に取り組む。 既に出来ている節電などは、継続する。				
環境活動者の取り組み評価	看護部内の暖房の節約、EVの利用を控える、ごみの分別などを他の職員にも働きかけて取り組んだ。 コピーの削減は目標通りにできなかったが、削減が必要であることは部署内で周知し共有できた。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 栄養部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧、通知文はメール配布 ・コピーは両面、2in1など枚数削減 ・コピー損じ、メモ紙へ利用 	12.5		<p>病院からの回覧物はメールにて配布するようになった。しかし一部非常勤職員についてはPCが使えないなどあるため、紙配布が残った。</p> <p>メールを見ない職員がいるので注意をしている。</p>
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別、ごみ箱の区別 ・廃油リサイクル 	12.5		<p>もともと区分けしている。廃油リサイクルも順調。</p>
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> ・カタログ又は見積もり先に確認を行う。 	12.5		<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか確認して購入までいかず、難しかった。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不在時、こまめな消灯、電源OFF ・冷暖房、温度の適正化 ・エレベーターの利用自粛 ・退社時間の短縮 	7.3		<ul style="list-style-type: none"> ・PCは最低限のみ電源をつける。電気のこまめなON, OFF。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の試み	コピー用紙を減らす	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧、通知文はメール配布 ・栄養部OneDriveの文書閲覧 ・メール会議の活用 ・資料のWEB閲覧 	12.5		<ul style="list-style-type: none"> ・栄養部OneDriveの活用は進み、共有書類が増えることで扱いもしやすくなった。 ・報告のみの会議はメール開催 ・回覧に関しては病院側も積極的にメール配信をしているので、助かっている。スタッフへの転送作業も減るので歓迎。
次年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン商品券購入はほとんど意識して実施はできなかった。なかなか該当するものはないため。 ・回覧用紙はメール回覧などに置きかえは進んだが、患者の個人情報が含まれる病棟への排出帳票、事務所内控え帳票は晴らすことができない。個人情報の含まれる帳票は使用済で裏紙として活用したいと思ったが、どうしても混ざってしまうのが避けられず適さないため、減量するには至らなかった。 				
環境活動者の取り組み評価	<ul style="list-style-type: none"> ・メール回覧、OneDriveでの資料の共有から出力紙が減った。今後も継続、拡大を進める。 				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

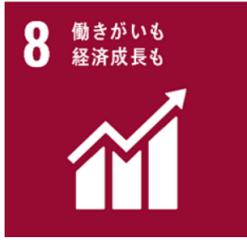
所管部署名 医事課・地域連携課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	電子ファイルでの資料共有 資料の2アップの推進	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	OneDriveやTeamsを活用した資料共有の推進を行った
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	裏紙使用の推進 分別の徹底 ミックスペーパーの回収	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	個人情報を含まない裏紙はメモ用紙等として再利用を行った 企業等から送付されるパンフレットや情報冊子等は閲覧後ミックスペーパーとして回収するようにした
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品の購入を励行する	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン商品の購入を励行に努めたがあまり効果的にできなかった
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	電化製品のこまめな電源OFF PCやプリンタの待機時省電力機能の設定 階段利用の促進 (2UP、3DOWN)	7.3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	電化製品はこまめに電源OFFとした 空調の温度設定を夏は高めに冬は低めにした 階段利用を促進した
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省エネルギーの取り組み	課内の打ち合わせについては原則電子ファイルでの資料共有とする 週1回の定時退勤 レジ袋を80%削減	ペーパーレス 超勤削減にむけ定時退勤日の設定 コンビニや売店等で商品を購入する際原則としてレジ袋を 購入しない	7.3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	課内の打ち合わせはTeams等を活用しペーパーレスに努めた オンライン会議では事前に紙資料配布を削減した コンビニや売店ではレジ袋を購入せずエコバック持参を推奨した
次年度の課題	R4年度の取組事項を基本的には継続する。				
環境活動者の取り組み評価					

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 職員課 職員担当 _____

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各会議のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とし、また、紙面を使用する場合においても縮小や両面で印刷するなど、創意工夫を行う。	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	会議等での資料はメール等で行われるようになった。課題としてはその分メール検索等、業務が滞る部分もあった。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	現有資産を最大限に活用し、再利用可能なものは実施していく。	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミの分別で特にペットボトルのプラをきちんと分別するように共有はした。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	環境負荷のかからない製品等また、必要最小限の購入を心がける	12.5	12 つくる責任 つかう責任 	電化製品などecoに心がけて製品の購入をした。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底	7.3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	月に1回定時退勤するなど呼びかけエレベーターの下りはなるべく階段を使用するように心がけた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	超過勤務時間の削減 不要な会議の縮小	8.5	8 働きがいも 経済成長も 	医師の働き方改革の影響により労働負荷は多くなってしまった傾向にある。そのため不要な会議等精査改善していかうと努力する傾向はみられた。
次年度の課題	勤務時間の短縮、医師の働き方改革により、多忙な時期もあったが、今後出退勤管理について、医師に対しても実施がなされる予定で職員課の職員も働き方改革の実施に本格的に取り組んでいきたい。				
環境活動者の取り組み評価					

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 医学教育推進課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	コピー用紙の削減の取組 ・ZOOM会議による紙資料の削減(PDF資料での対応) ・2アップ(2枚分を1枚にコピー)	12.5		医学系教授会をはじめ、各種委員会の資料を事前にPDFで配布することや委員会当日にはZoomで画面共有することにより、紙消費の減少に貢献した。教授会に関しては、グーグルドライブを活用することにより、eメールに直接PDF資料を添付することを回避する等、より効率的な手法を用いるよう工夫している。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミ分別の徹底	12.5		ゴミ分別については、わかりやすく表示する等、ゴミ分別に関する周知・徹底を行った。また、施設担当が所管する粗大ゴミ廃棄に関して廃棄日程等の通知を医学部全教室に周知する等、粗大ゴミ廃棄の促進に寄与した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・購入時にカタログ又は見積先への確認の実施	12.5		前年度に引き続きカタログ等を確認し、対象商品が無いもの以外は極力グリーン購入で対応した。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・テレワークの実施等を含む業務の効率化により光熱水費の節約	7.3		積極的にテレワークを推進する等により電力消費量の省エネ、減少を念頭に置いた業務運営を行った。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
紙文書の整理	文書廃棄に応じて、必要な資料に関してはPDF化による整理を行う。	・保存文書のデータ化による紙文書量の削減	12.5		紙数についてはでき得る限りの削減を進め、特に医学部教授会に関しては、引き続きPDFでの配布を行うことにより、紙消費の減少に寄与している。さらにグーグルドライブを活用することにより、eメールに直接PDF資料を添付することを回避する等、より効率的な手法を用いるよう工夫している。
次年度の課題	表題共通項目を念頭に置いて業務を行う。 引き続き遠隔システム(ZOOM等)を利用した会議や委員会、またはメール審議を実施することによる可能な限り紙資料を削減する。				
環境活動者の取り組み評価	定例の医学系教授会をはじめ、各種委員会の資料を事前にPDFで配布することや委員会当日にはZoomで画面共有する等、各種会議体のオンラインでの開催が定着したことが紙消費量減少となり、環境改善に貢献している。また、事務室レイアウトについての大幅な変更による改善を行ったことにより、各職員の環境整備が進み、個人的に必要な以上の紙資料をストックはしない等の意識づけをすることができた。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 医学・病院企画課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	会議や委員会の開催では、プロジェクターの使用や、オンライン会議（Zoom等）にするなど、資料を印刷せずに開催する。 印刷物は状況に合わせ、2アップ、4アップ、両面印刷等を組み合わせ、極力枚数が少なくなるよう工夫する。	15.2		課内の会議や委員会等はZoom会議を基本とし、資料の印刷はせずに開催した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ごみの分別の徹底	12.5		課内の職員がみな意識を高めて取り組んだ結果、ゴミがそれぞれ専用のゴミ箱に捨てられており、分別が来ている。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・備品、消耗品等購入時にカタログ又は見積先への確認の実施	12.5		検討はするが、価格面で不利なため購入に至らないことが多い。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・エレベータの使用について、2UP3DOWNは階段を使用するよう啓蒙 ・空調温度、運転時間の適正化 ・OA機器の省エネ設定、不在時の電源OFF ・ブラインドを活用した冷暖房の効率運転	7.3		エレベータホールに「2 up、3 downは階段」というポスターを掲示し、スタッフに階段利用を促している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
夏場の電力ピークカットの取組	契約電力5,400kWを超えない	電力デマンドを監視し、熱源機や空調機の出力、運転台数をコントロールする。 電力使用量が逼迫するときは、各部署への節電要請を行う。 電力予報により、職員の節電意識を高める	7.3		令和4年度は6月から暑い日が続き、電力逼迫警報にあわせ、節電の要請を一斉配信した。 7月～9月の間、電力予報を発行し、使用量が多くなりそうときは一斉メールで節電の要請をした。 空調の設定温度、運転スケジュール等を季節により調整し、電力・ガス使用量を削減した。
化学物質等管理点検の取組	年1回、各研究室へ出向き化学物質等管理点検を行う。	各研究室へ出向き、安全マニュアルの管理、化学物質の記録、毒物等の保管状況、高圧ガスの管理状況、実験排水及び廃液の保管状況、リスクアセスメントの実施状況等を確認し、不適格な事例に対し指摘、指導を行う。	6.3		各研究室へのラウンドを実施し、不適箇所の指摘、指導を行った。
次年度の課題	コロナ禍で換気を多くするなか、空調に係るエネルギーが増加している。 機器更新による省エネだけでなく、職員の意識向上につながる取り組みをしていきたい。				
環境活動者の取り組み評価	電気、ガス料金が高騰し、光熱水費の削減が大きな課題となっている。 大きな空調機の設定温度、運転スケジュールを見直し、年度後半の使用量を低減できた。				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム令和4年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 医学・病院企画課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R3年度実績値をベースに、1年間で1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ZOOM活用やPDF配付による会議での紙資料の削減 ・TeamsやOneDriveの活用による紙媒体での作業の削減 ・2アップ・両面印刷による紙節約の実施 ・複合機のコピーカード運用での無駄なコピー用紙の管理 	12.5		ZOOMによる資料配付を励行し、紙による資料配付を減らした。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和3年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別の徹底 ・裏紙のメモ用紙としての再利用 	12.5		裏紙をメモ用紙として活用した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> ・備品、消耗品等購入時にカタログ又は見積先への確認の実施 	12.5		該当する商品の購入に努めた。
省エネルギーの取り組み	R3年度実績値をベースに、3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・退出時の空調、照明、プリンター等の電源確認の実施 ・照明の間引き（特に超過勤務時） ・サーキュレーターによる室内の温度差の抑制 ・ブラインドを活用した冷暖房の効率運転 ・定時退庁の励行（執務室滞在時間の縮減） 	7.3		退出時の空調、照明、プリンター等切電を徹底した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
備品・消耗品リサイクルの励行	不要備品・消耗品の集約励行、過剰確保の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・机の整理整頓による不要備品・消耗品の集約の励行 ・必要量に限った物品使用の徹底 ・クリアファイル、バインダー、ドッジファイルのリサイクルコーナー設置・運用 ・その他不要となった消耗品の集約・リサイクルの励行（クリップ等） 	12.5		リサイクルコーナーを執務室内に設置し、使用していない備品の集約及び再利用を促進した。
課内打合せでの紙資料の削減	ZOOM、Teams、OneDriveの活用活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の打合せや会議での活用可否の検討 ・使用習熟に向けた情報共有 ・周知ポスター（コピー用紙の削減）の配付、印刷室への掲示 	12.5		ZOOM等でのデータによる資料配付により、紙資料配付の機会を減らした。
次年度の課題	会議のオンライン実施や紙資料削減をさらに行う必要がある。大幅な改善のためには目標数値（紙〇枚節約、光熱費〇%削減etc.）を設定した取組が必要。 例えば、A4紙の使用量について、5%減を目指すのはどうか。（R4年度12,795,000枚 ⇒ R5年度目標12,155,250枚）				
環境活動者の取り組み評価	A4紙の使用量について、前年度比約2%の削減となった。（R3年度12,997,500枚 → R4年度12,795,000枚） リサイクルコーナーの設置を周知し、持っている不要な物品を積極的に置くよう伝えた。 退庁時、電気等の消し忘れが無いよう積極的に確認し、漏れが無いようにした。 自分をはじめ、定時退庁を励行できなかったため、今後は業務の効率化に努め、促進していきたい。				